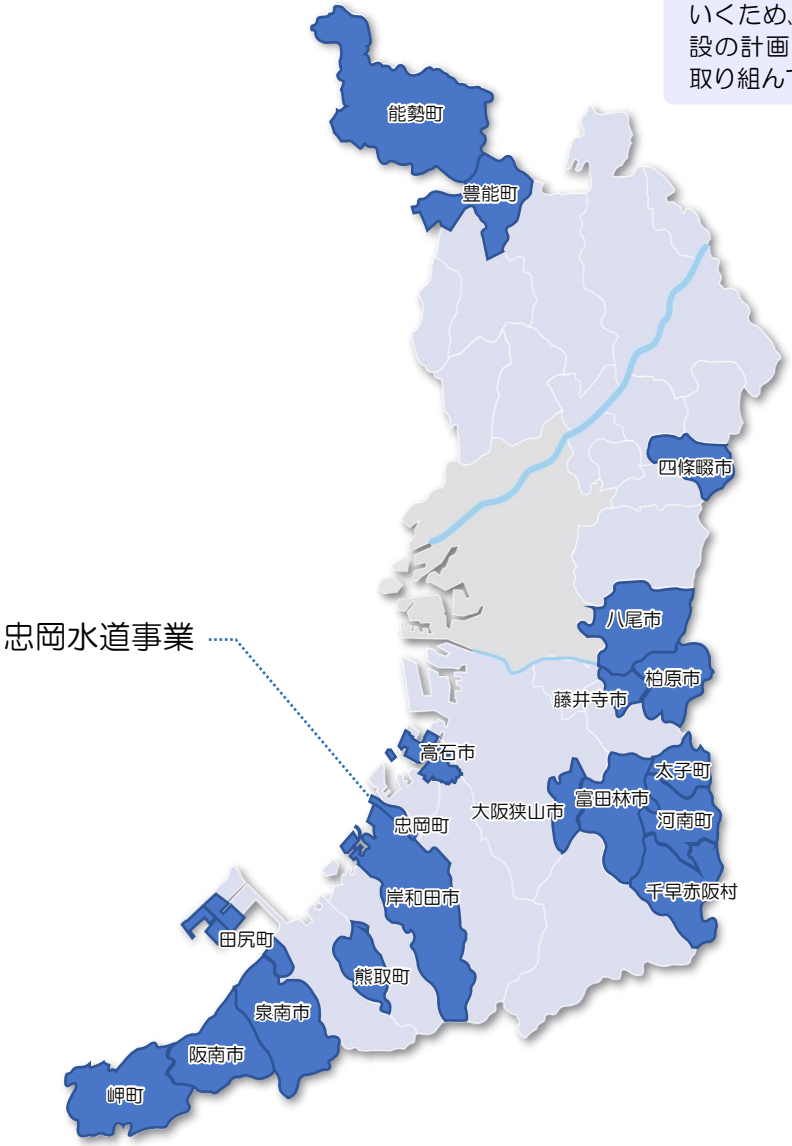
2025年度の主な取組

■ 市町村域水道事業(18水道事業)

水道水の安定供給を持続していくため、老朽化が進む水道施設の計画的な更新・耐震化に取り組んでいます。



重要施設配水管路の目標設定について教えて！

2024年１月に発生した能登半島地震で上下水道施設に甚大な被害が生じ、復旧が長期化したことを踏まえ、国土交通省から全国の水道事業者や下水道管理者に対し、重要施設※に接続する上下水道管路等の耐震化を推進するための「上下水道耐震化計画」を2025年１月までに策定するよう要請がありました。

この計画策定に当たり、企業団と統合元団体で協議を行い、対象施設となる重要施設の見直し(地域防災計画とも整合)を行うなど、これらに接続する重要施設配水管路の耐震管率の目標値(2029年度)を設定しました(これにより一部の水道事業で従来の目標値から変更が生じています。)。

本アニュアルレポートにおいては、昨年度に引き続き、「上下水道耐震化計画」の目標値に対し実績の推移を報告します。

※ 災害時においても給水の重要性が高い医療機関、避難場所、福祉施設、防災拠点等の施設。なお、「上下水道耐震化計画」に合わせて「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しています。

企業団と水道事業を統合した市町村

- **2017年４月から**企業団が水道事業を開始
  四條畷市・太子町・千早赤阪村
- **2019年４月から**企業団が水道事業を開始
  泉南市・阪南市・豊能町※・忠岡町・田尻町・岬町
- **2021年４月から**企業団が水道事業を開始
  藤井寺市・大阪狭山市・熊取町・河南町
- **2024年４月から**企業団が水道事業を開始
  能勢町※
- **2025年４月から**企業団が水道事業を開始
  岸和田市・八尾市・富田林市・柏原市・高石市

13水道事業
(14市町村の水道事業)

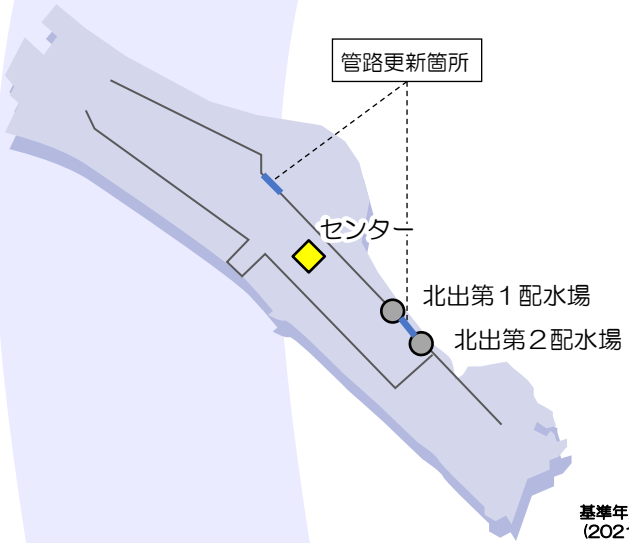
※ 豊能町域と能勢町域の水道事業は、2024年４月に統合し、豊能地域水道事業として運営を開始

18水道事業
(19市町村の水道事業)

５水道事業
(５市の水道事業)

2025年度の主な取組

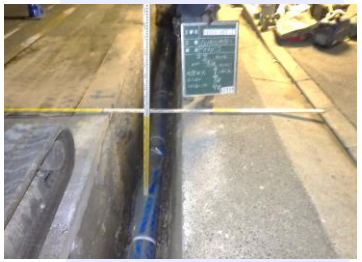
■ 忠岡水道事業



【凡例】
- 水道センター
- 浄水施設
- 配水池
- ポンプ場
- 主要な既設管路
- 2025年度整備箇所

		基準年度実績（2021年度）	2024年度実績	2025年度実績	目　標（2029年度）
管路の耐震管率	基幹管路	47%	47%	47%	100%
	重要施設配水管路（耐震適合率）	－	54%（54%）	60%（60%）	85%（85%）

2025年度の執行額は2.5億円で、主な事業は次のとおりです。



管路の更新・耐震化

■ 配水管布設替工事(中央線第６期・３工区)

更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を実施しました。

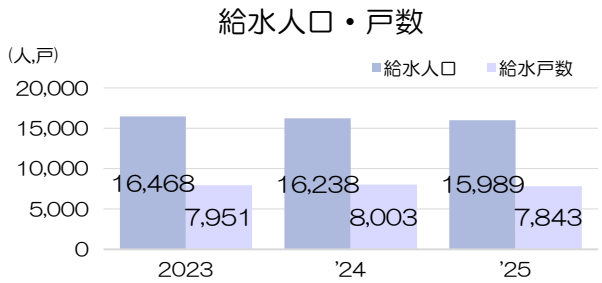
2025年度執行額　66百万円

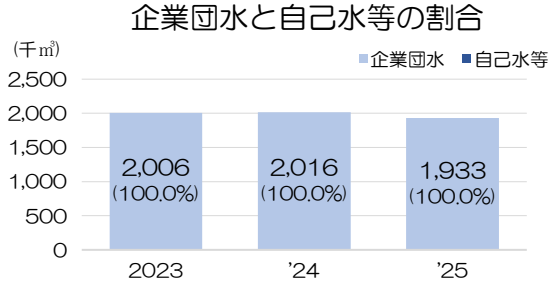
その他の取組

■ 北出第１・２配水場の再整備に係る詳細設計を実施しました。

■ 忠岡水道事業

給水人口や給水量の推移





2025年度末の給水人口は15,989人で、前年度と比べて249人(1.5%)減少しています。

また、給水戸数は7,843戸で160戸(2.0%)減少しています。

給水量は1,933千㎥で、前年度と比べて83千㎥(4.1%)減少しています。なお、給水量のうち企業団水の占める割合は100%です。

財政収支

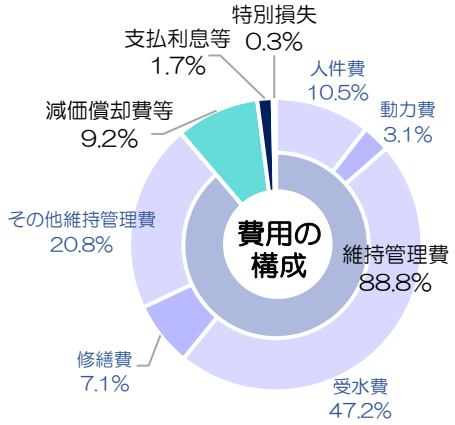
(単位：百万円、税抜)

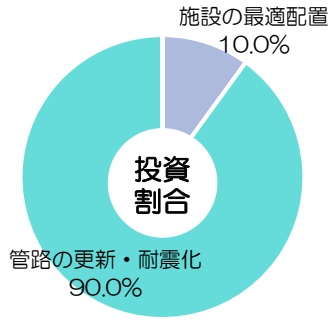
収益的収支	2024決算(a)	'25決算(b)	差引(b)-(a)
収　益	**281**	**307**	**26**
給水収益	257	229	△ 29
長期前受金戻入	4	4	0
その他収入	20	75	55
特別利益	0	0	△ 0
費　用	**288**	**293**	**5**
維持管理費	257	260	3
減価償却費等	27	27	0
支払利息	4	5	1
特別損失	―	1	1
単年度損益	**△ 7**	**14**	**21**

(単位：百万円、税込)

資本的収支	2024決算(a)	'25決算(b)	差引(b)-(a)
収　入	**92**	**239**	**147**
企業債	64	167	103
国庫補助金等	27	70	43
その他収入	―	2	2
支　出	**160**	**292**	**132**
建設改良費	135	268	133
企業債償還金	25	24	△ 1
その他支出	―	―	―
収支の差額	**△ 69**	**△ 53**	**15**

＊収支の差額については、積立金等で補てん





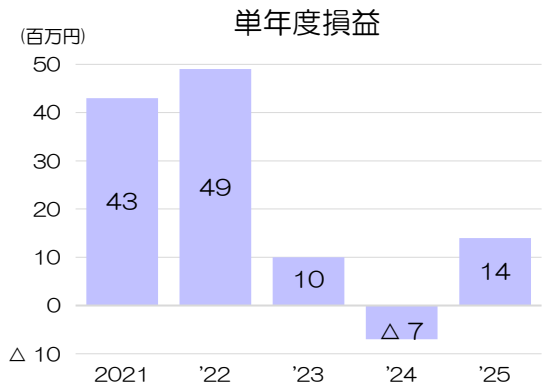
※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

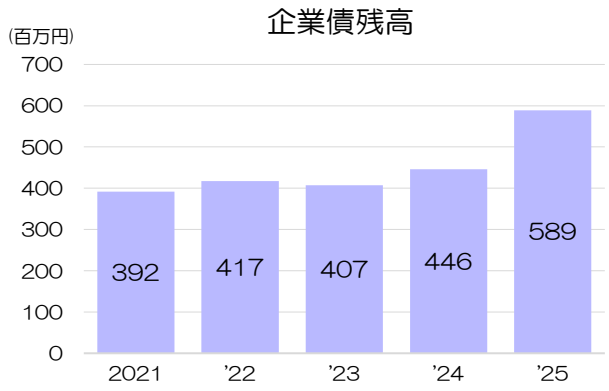
収益は、前年度に実施した料金の徴収周期の標準化(毎月徴収から隔月徴収へ変更)により減少していた給水収益が12か月分に戻ったことなどから、前年度と比べると26百万円増加しました(水道料金(基本料金)の減免により給水収益が減少していますが、忠岡町からの負担金収入で補てんされており、収益総額への影響はありません。)。

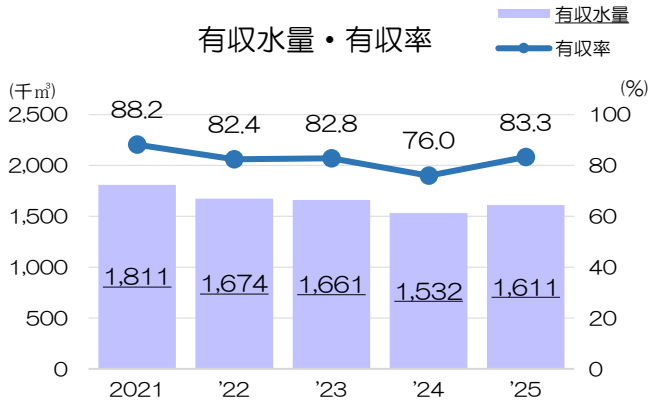
費用は、委託料の増加などで維持管理費が増加したことなどにより、前年度と比べると5百万円増加しました。

これらの結果、単年度損益は前年度に比べ21百万円増加し、14百万円の単年度利益となりました。

財政収支の推移



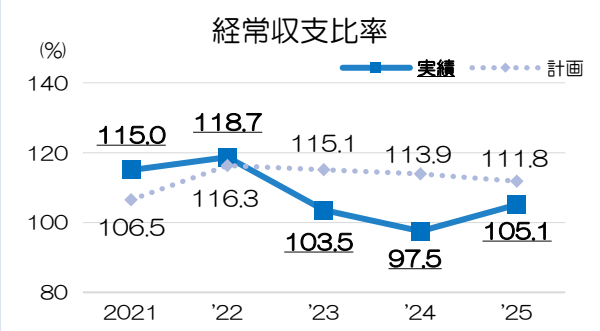




※ 料金徴収の標準化に伴い、有収水量の一部が2025年度に計上されたことなどから、2024年度は一時的に有収率が減少しています。

主な経営指標の状況

○：計画を達成　△：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満)　×：計画を未達成



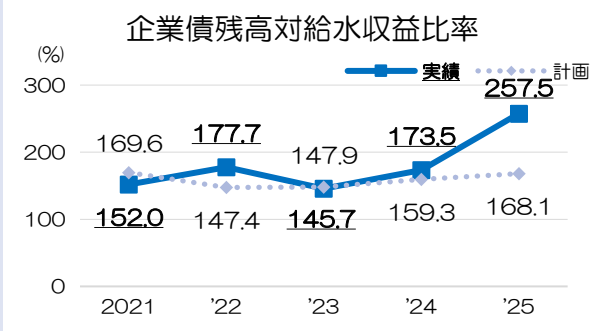
達成状況	2021	'22	'23	'24	'25
	○	○	×	×	×

〈算出式〉経常収益／経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

計画と比べ、維持管理費が増加したことから、2025年度の実績は、計画を達成できませんでした。なお、前年度と比べ、収益が増加したことから、7.6ポイント増加しています。

【参考:2024年度類似団体平均値103.7%】



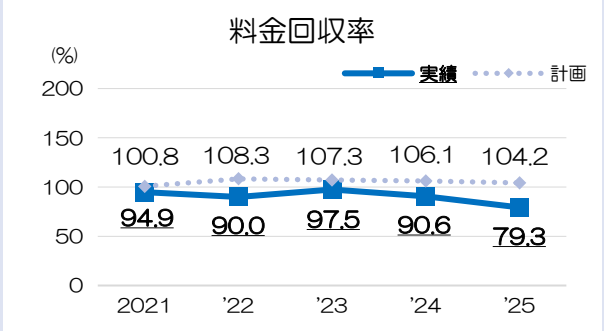
達成状況	2021	'22	'23	'24	'25
	○	×	○	×	×

〈算出式〉企業債現在高合計／給水収益×100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

計画と比べ、企業債残高が増加したことから、2025年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、企業債残高が増加したことから、84.0ポイント増加しています。

【参考:2024年度類似団体平均値391.1%】



達成状況	2021	'22	'23	'24	'25
	×	×	×	×	×

〈算出式〉供給単価／給水原価×100
(供給単価＝給水収益／有収水量)

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

計画と比べ、減免により給水収益が減少したことから、2025年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、給水収益が減少したことから、11.3ポイント減少しています。

【参考:2024年度類似団体平均値92.2%】